

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模大野7丁目プロジェクト 新築工事	階数	地上15F
建設地	神奈川県相模原市南区相模大野7丁目721番5、721番6	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	98人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年1月 予定	評価の実施日	2020年5月30日
敷地面積	732㎡	作成者	㈱ガイ・プランニング
建築面積	280㎡	確認日	2020年5月30日
延床面積	2,265㎡	確認者	㈱ガイ・プランニング

外観バース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 1.1</b> ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> <b>Qのスコア = 2.9</b></p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> <b>Q1のスコア = 2.9</b></p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> <b>Q2のスコア = 3.2</b></p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> <b>Q3のスコア = 2.5</b></p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> <b>LRのスコア = 3.3</b></p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> <b>LR1のスコア = 3.9</b></p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> <b>LR2のスコア = 2.8</b></p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> <b>LR3のスコア = 3.1</b></p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b> 躯体の耐久性向上を基本に、緑化、景観など標準的な取り組みをした共同住宅としている。</p>		<p><b>その他</b></p>
<p><b>Q1 室内環境</b> 室内騒音レベルを押さえ、遮音性を高める建築基準法を満たし、建築基準法規制対象外となる建築材料をほぼ全面的に採用する</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> 維持管理用機能の確保において、充実した取り組みが行われるよう配慮する</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 建物空地に可能な限り植栽を配し、屋外環境に配慮している。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b> 住戸内に標準的な断熱材を施工している。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> 躯体と仕上材を容易に分離可能なLGS工法を採用し、資源の再利用に配慮している。またリサイクル材の使用に配慮している。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> 適切な量の駐車スペースを確保し、導入路も6mと広く取り同時にすれ違えるよう配慮している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される